



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年3月7日
MR/E12/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

UNU-IDB セミナー

基調講演に

マチネア国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) 事務局長

内容: UNU/IDB セミナー
「ラテンアメリカ・カリブ海諸国の社会経済の挑戦：開発課題の定義」
日時: 2007年3月14日（水）午後2時30分～午後4時30分
場所: UNハウス3階 ウ・タント国際会議場
主催: 国際連合大学（UNU）、米州開発銀行（IDB）駐日事務所
後援: 外務省

- このセミナーは、ラテンアメリカおよびカリブ海地域諸国の開発プロセスを定める社会・経済的側面、およびこれらの諸国が持続可能で公正な成長を遂げるために直面している課題について話し合う場を提供することを目的としている。
- 開会のスピーチは、国連大学のハンス・ファン・ヒンケル学長および外務省の三輪昭中南米局長が行う。
- 基調講演者は、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）事務局長のホセ・ルイス・マチネア博士である。
- マキネア博士の講演に続き、駐日メキシコ合衆国大使ミゲル・ルイス・カバーニャス氏が議長を務めるパネルディスカッションが行なわれる。パネリストは以下のとおり。
 - 堀坂 浩太郎氏 上智大学イベロアメリカ研究所所長
 - 星野妙子氏 日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター次長
 - ネアントロ・サーヴェドラ・リヴァノ氏 筑波大学 APEC 研究センターディレクター
- 本セミナーは、インターネットのウェブキャスト (<http://c3.unu.edu/unuvideo/?125>) でもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。
- 日英同時通訳あり。

取材ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311 e-mail: media@unu.edu）

基調講演者について

マチネア氏は2003年にECLACの事務局長に就任。同氏は1980年代後半にアルゼンチン中央銀行総裁を務め、その後民間セクターでコンサルタントとして経済調査機関と活動する。1999年にアルゼンチンの経済産業大臣に就任。米国ミネソタ大学で経済学の博士号を取得し、マクロ経済、金融や財務関係の著作を多数出版。

背景

- 国家間に著しい格差があるにもかかわらず、過去4年間、ラテンアメリカ・カリブ海諸国は過去20年間で最も力強くめざましい経済成長を遂げている。
- それにも関わらず、この地域の成長率は他の途上国地域と比肩できるものではない。1人当たりのGDPの改善や貧困レベルと失業率の減少が見られるにもかかわらず、この地域のほとんどの国々では、貧困と不平等との闘いや、国内の社会的結束の促進へのさらなる注力が必要となる緊急の社会問題に依然として直面している。